

Q2.

集中力が続かないのか、本を開いてもすぐにやめてしまいます。もう少し英語に触れる時間を増やしたいです。

**A.**

低学齢のお子さんの集中力は「年齢+1分」と言われています。まずは、この時間を目安に取り組んでみてください。また、やりたくないときは無理やりさせずに、違う月号のものや別の教材を勧めてみるなど、お子さんの興味に合わせて取り組みかたや声かけの工夫を。できれば、毎日5~10分英語に触れる習慣を作りましょう。

point
1

集中できる時間は短い?!

一般的に低学齢の子どもの集中力は「年齢+1分」と言われています。つまり、3歳なら4分、4歳なら5分、5歳なら6分程度。また、おなかが空いている状態や、眠いとき、お子さんの体調なども集中できる時間の長さに影響します。

point
2

その時に興味のあるものを。

低学齢で成長期のお子さんの興味は、日々変化すると言っても過言ではありません。年上のきょうだいがいる場合、しばしばお姉ちゃんやお兄ちゃんの真似をしたがりますし、テレビやインターネットの番組で見たものに興味を惹かれることもありますね。また、家族で楽しんだ動物園・水族館・遊園地などがきっかけとなり、今までとは異なるものに興味を示すようになることもあるでしょう。「ポピペン Book」は毎月、さまざまな場面設定をしているのですが、その場面とそのときのお子さんの興味が必ずしも一致しないこともあると思います。「ポピペン Book」を見て、そのとき面白くないと感じたらすぐにやめてしまうのは、そのいい例です。しかし、それはあくまでもそのときのお子さんの気分なので、おうちのかたは無理やりさせるのではなく、時間や日を空けたり、見せるページを変えたりと、さまざまな工夫をすることが大切です。それでも難しい場合は、おうちのかたが率先して「ポピペン Book」や「付録」で遊んでいる姿を見せてください。子どもは笑い声や楽しそうな雰囲気にはとても敏感ですから、まずおうちのかたがお子さんの興味を惹く演出をし、お子さんが近づいて来たら、少しの間で構いませんので、一緒に英語に触れる時間を作ってあげましょう。

point
3

英語の時間の習慣作りに挑戦!

可能であれば毎日同じ時間に5分でも10分でもいいので、英語に触れる習慣作りに挑戦してください。一般的な英語教室のレッスンは1回で40~50分間ですから、毎日5分間でも7日間で、英語教室のレッスン1回分に相当しますよ。